

夢追い人



大川で一番に選ばれるタクシー会社に

有限会社 旭タクシー
代表取締役社長 龍周吾さん

今回は大川市を拠点とするタクシー会社、(有)旭タクシーの龍周吾さんにお話を伺いました。

点と点を結ぶ仕事

昭和三十五年に創業し、今年

五十七年目となる旭タクシー。

「タクシーの台数は十五台、従業員は二十三名。大川市民の足になれるように日々頑張っています」

旭タクシーの営業権があるのは、大川市と旧三瀬郡（大木町、三瀬町、城島町）のこと。タクシーの利用者もほとんどが大川の方だそうです。

「タクシー会社として、まずはお客様を安全に目的地まで届ける、そして安心して利用してもらえるタクシー会社を目指すと業員にいつも言つてゐるのはお客様第一。大川で一番に呼ぶタ

クシーと言つたら旭タクシーと言われるように努力していますね」

また旭タクシーでは、GPSを使った配車システムを導入しているとのこと。タクシー全車にも本社と連動したナビゲーションを導入しているそうです。

「大手のタクシー会社では導入しているところが多くあるんですが、会社の規模を考えると珍しい設備だと思います。このシステムを導入することによって、よりお客様が利用しやすい環境を整えられていますね」

では、観光で旭タクシーを利用されている方はどのような方なのでしょうか。「観光で利用してくださる方は、ほとんどがリピーターですね。前の年から旅行の予約をしてくれる方もいらっしゃいます。それからななつ星で大川組子が有





本社にある GPS システム



「食べ物も美味しい、見るところもある。体験もできるつていう材料は数多くあって、大川の歴史をなぞりながら家具の産地になつたという順序立てができる風景もあります。観光の諸点になりうる場所はたくさんありますが、点と点を結ぶなかで、ちよつと立ち寄る場所が少ないのでかなだと思いますね。大川は観光するにあたつてコンパクトなのも売りだと思います」

ういうにおいがする場所へ行くと、木のにおいかします。そ
とより記憶に残ると思います。筑後川へ行けば、筑後川のにお
いがしますしね。見て、聞いて嗅いで、触って、食べて。大川
には五感で示せるような要素が多くあります。たくさんあると思つています。
いまはインターネットで見て来られることが多くあります
が実際に行つてみて驚かれることが多いです。筑後川であれば清
流とは違うので、思つていたものと違う！と驚かれます。大川
の観光名所も使い方やPRの仕
方で変わつてくると私は思いま
すね」

百年企業を目指して

大川ももつと観光で盛り上



ジャンボタクシー

名になつた関係で、そういうつたツアーディレクターで来られて利用されることが多いですね。やっぱり木工は皆さんご存知です。大手旅行会社から大川市内の観光地の点を運行してくれないかといふ依頼もありました。当初は見るだけに特化した内容でしたが、次に依頼があつた際、他にいいところはないかと尋ねられて、五感をフルに活用できる場所を紹介したところ、とても満足してもらいましたね」

またタクシーの利用ではないが、肥後街道付近のタクシー会社ということで、他県ナンバーから観光地の場所を尋ねられることがあるそうです。

「時間的な問題もあるので、アーディレクターでは二か所の案内がほとんどですね。大川を半日観光したいという依頼もあります」

では、龍さんの考える大川の観光ルートとはどういったもの

大川という街

「平日の観光を依頼された時、まずは筑後川の堤防に上がつて、筑後川下流の様子をお見せします。それからデ・レイケ導流堤をお見せします。大川市民にとっては当たり前の風景ですが、実際に見られると皆さん珍しがられますね。それからちょっと川を離れると、たくさんさんの木材が置かれています。私はあいいう風景も観光の資源だと昔から思っていますね。木工の材料となる木を干しているところをお見せしながら、皆さんが考えているよりも長期間干されている説明などをします。そのあと若津港へ行き、ここで丸太の係留場が行われていたことを説明します。それから昇開橋の話をしても、実際に昇開橋へ。筑後川の流れや勢い、深さなどを実際にお見

せすると結構喜ばれますね。そのあとは木工体験や、肥後街道へお連れします。古賀政男記念館などは強い要望や時間があればお連れしますね。それがない場合は大川の歴史を辿ったコースを巡るようになります」

大川も半日では時間が足りないくらい、観光する場所があるとお話をされた龍さん。大川へ来られる方だと、目当てにするものがいくつか定まっている方が多いとも話されました。

「夏はエツを目当てによく来られます。お客様の希望に応じていろいろな場所へお連れするよう心がけています。それから最近の大川の観光事情を考えるとななつ星で大川組子が有名になつた関係か、観光客から見ると以前と比べて、家具よりも組子というイメージが強くなつてきている気がしますね」

最近は体験型の観光が多くてます、ハサウエーには本

「組子にして
でなく、実
くと、木の
ういうにお
こり已

ても店頭で見るだけ
際に工場へ見学に行
においがします。そ
いがする場所へ行く

ています。大川には観光の材料になるものはたくさんあります

「大川に観光客がたくさん来て
くれて、点と点を結ぶ回数が増
えて欲しいですね。観光拠点に
関しても、組子や家具の常設展
示場があればもっと案内しやす
いですし、筑後川の丸太係留の
サンブルなどがあればもっと説
明もしやすいです。様々な問題
点はあると思いますが、是非と
も検討して貰いたいですね。そ
れから旭タクシーももうすぐ創
業六十年を迎えます。これから
も大川で一番に選ばれるタク
シー会社、そして百年企業を目
指して頑張りたいですね」